

あ
かた
上がり方のまとめ

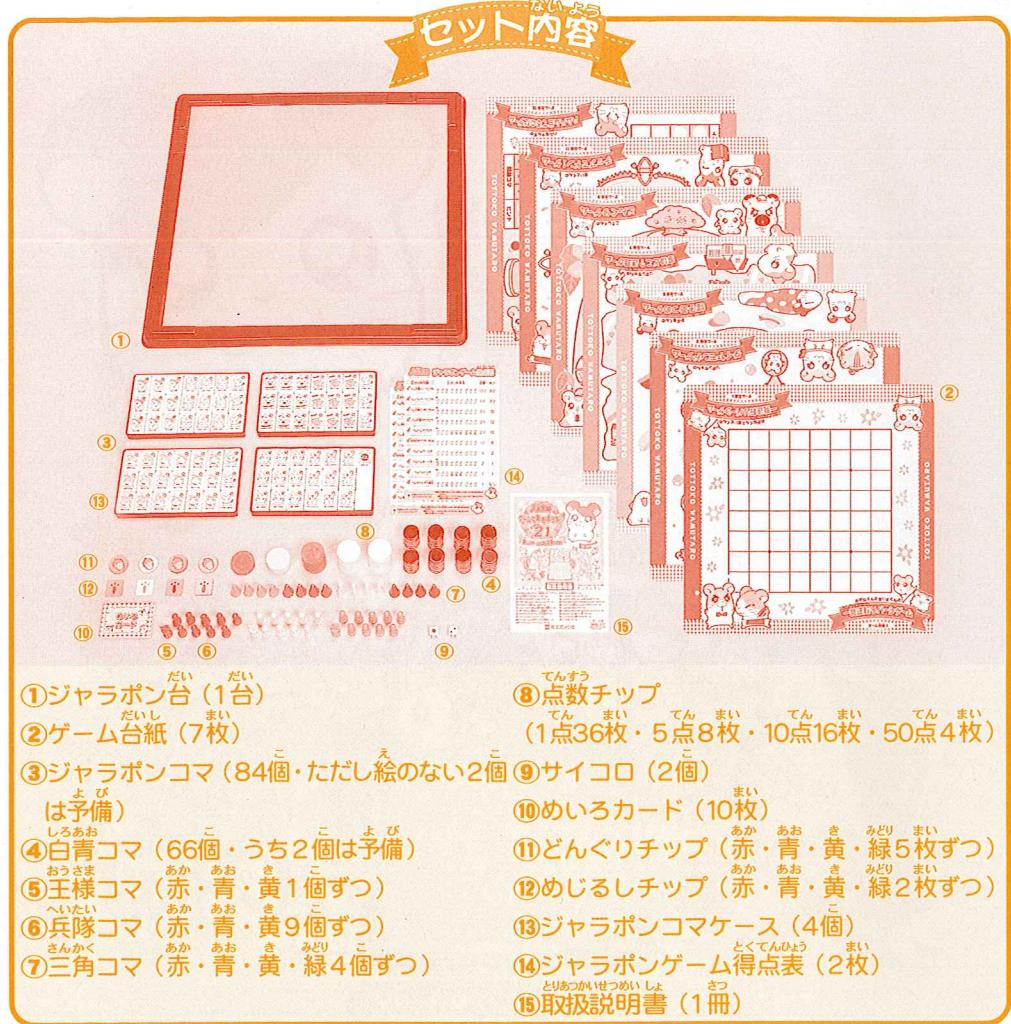
①「ポン」も「リーチ」もせず、自分がめくったコマで上がった。	得点表の点数をみんなからもらう。リーチのチップも、もらえる。
②「ポン」も「リーチ」もせず、人の捨てたコマで上がった。	得点表の点数を、上がりのコマを捨てた人だけからもらう。リーチのチップも、もらえる。
③「ポン」をして、それから自分がめくったコマで上がった。	得点表の「ポン」の欄の点数をみんなからもらう。リーチのチップも、もらえる。
④「ポン」をして、それから人の捨てたコマで上がった。	得点表の「ポン」の欄の点数を、上がりのコマを捨てた人だけからもらう。リーチのチップも、もらえる。
⑤「リーチ」をして、自分がめくったコマで上がった。	得点表の点数+3点を、みんなからもらう。リーチのチップも、もらえる。
⑥「リーチ」をして、人の捨てたコマで上がった。	得点表の点数+3点を、上がりのコマを捨てた人だけからもらう。リーチのチップも、もらえる。
親が上がった。	得点表の点数(ポンのときは、「ポン」の欄)の2倍もらえる。上の⑤、⑥の場合は、2倍+3点。
オールマイティ(ひまわり)が入っていて、上がった。	得点表の点数+3点をもらえる。 上の⑤、⑥の場合は、点数+6点。

取扱説明書をお読みいただき、ありがとうございました。

みなさまのアイデア等も付け加えていただければ、遊びの幅が一層広がります。



- ①めがねくんとまいどくんの一発逆転リバーシゲーム
- ②ハム太郎のてちてちレースゲーム
- ③リボンちゃんのダイヤモンドゲーム
- ④トラハム兄妹のチエツカーゲーム
- ⑤かぶるくんの帽子あつめゲーム
- ⑥こうしきんのひまわり畑で食べ放題ゲーム
- ⑦リボンちゃんの家はどこ? 迷路ゲーム
- ⑧ハムちゃんずのとっとこ大行進ゲーム
- ⑨こうしきんのどんぐりゲーム
- ⑩タイショーくんの地下ハウス迷路ゲーム
- ⑪まいどくんのチップでドン! ゲーム
- ⑫ねてるくんの冒険ゲーム
- ⑬トンガリくんのリズムゲーム
- ⑭ハムちゃんずのハムハム当てるのだゲーム
- ⑮マフラーちゃんとリボンちゃんのハムハムトンネルゲーム
- ⑯パンダくんの夢のハムちゃんズランドゲーム
- ⑰ハムちゃんずめくりゲーム
- ⑱ハムちゃんずのダイスでドン! ゲーム
- ⑲ハムちゃんずのみつ並ベゲーム
- ⑳ハムちゃんずの揺れるのだゲーム
- ㉑ジャラボンゲーム



使用上の注意

- 破損・変形の原因になりますので、ジャラポン台を押したり、たたくなど無理な力を加えないでください。
- ジャラポンコマを落としたり、投げたりしないでください。
- ジャラポン台に水をこぼしたり、ぬれた手でゲームをしないでください。
- ジャラポンコマが汚れた時は、ぬるま湯で洗ってください。
(中性洗剤・シンナー等は使用しないでください。)



くちにいれない

注意 (ちゅうい)

- 保護者の方へ 必ずお読み下さい。**
- 小さなコマ、サイコロ、チップなどがあります。口のなかには絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
 - 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
 - 遊んだ後は、床などに放置せず3才未満のお子様の手の届かない所に保管してください。



お客様へ

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。弊社では、より良い製品をお届けするために、常に研究・改良をおこなっております。そのため、同一製品の中にも多少異なる場合がありますので、ご了承ください。

品質には万全を期しておりますが、万一お気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。

〒300-4193 茨城県新治郡新治村藤沢3647番5

株式会社 お客様サービスセンター

TEL.0298-62-5789

番号はよく確かめてからお掛け下さい。

[電話受付時間] 月～金曜日(祝・祭日を除く)

10時～12時、13時～17時

めがねくんとまいどくんの 1=発逆転リバーシゲーム

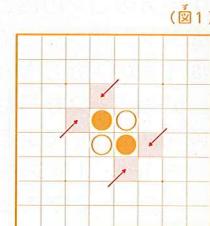
あいて 相手のコマをはさむマスにコマをおくと、はさまれた相手のコマが全部ひっくり返って自分のコマになってしまうというスリルあるゲームです。

用意するもの ●白青コマ 64個

遊びかた

①白青コマを32個ずつわけて、どちらが白になるかをきめます。白になった人は、コマをおくときに、かならず白を上にしておきます。もう1人は、青になりますが、同じように、コマをおくときは、かならず青を上にしておきます。

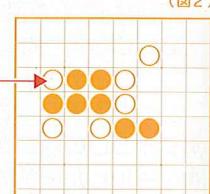
②中央に白コマと青コマを図1のようにおきます。



③ジャンケンなどで順番をきめます。1番の人から自分のコマを1つずつおいていきます。

④コマをおける場所は、相手のコマを自分のコマではさめるところです。はさむのは、たてでも、よこでも、ななめでもかまいません。図1から、白が先にコマをおくとすれば矢印の4か所が、おくことのできるマスです。

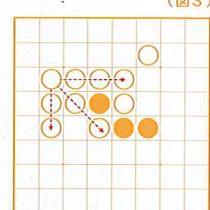
⑤コマをおいて相手のコマをはさんだら、はさんだ相手のコマをひっくりかえします。はさむコマの数はいくつでもかまいません。また、図2のように、1つのコマをおくことで、たてにも、よこにも、ななめにも、相手のコマをはさめたら、はさんだ相手のコマは全部ひっくりかえします。ひっくりかえしたところが図3です。



⑥どうやっても相手のコマをはさめないと、「バス」といって、コマをおかげに相手に順番をもどします。相手がコマをおいても、はさめるところがなければ、「バス」はつづけなくてはなりません。バスがつづいて、相手の白青コマがたりなくなったら、自分のコマを相手にわたさなければなりません。

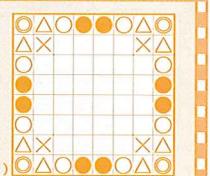
⑦相手のコマをはさめるのに「バス」をすることはできません。

⑧2人ともコマがなくなるか、2人とも「バス」となったら、ゲームはおわりです。自分のコマを数えて、多い方が勝ちとなります。

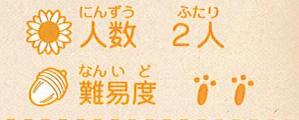


が勝つためのコツ

図4をみてください。○は、勝つために一番必要な場所です。○におかれたコマは、絶対にひっくりかえされることはないからです。○はそのつぎにいい場所、●は3番目にいい場所です。反対に×は、絶対においてはいけない場所、△はそのつぎにわるい場所です。(のこりのコマが少なくなってきたときは、そうでない場合もあります。)自分は○や○におくように、相手には×や△におかせるようくふうしましょう。



※各ゲームの難易度はひとつの中です。
の数が多いほど難しいゲームです。



2 でちでちレースゲーム

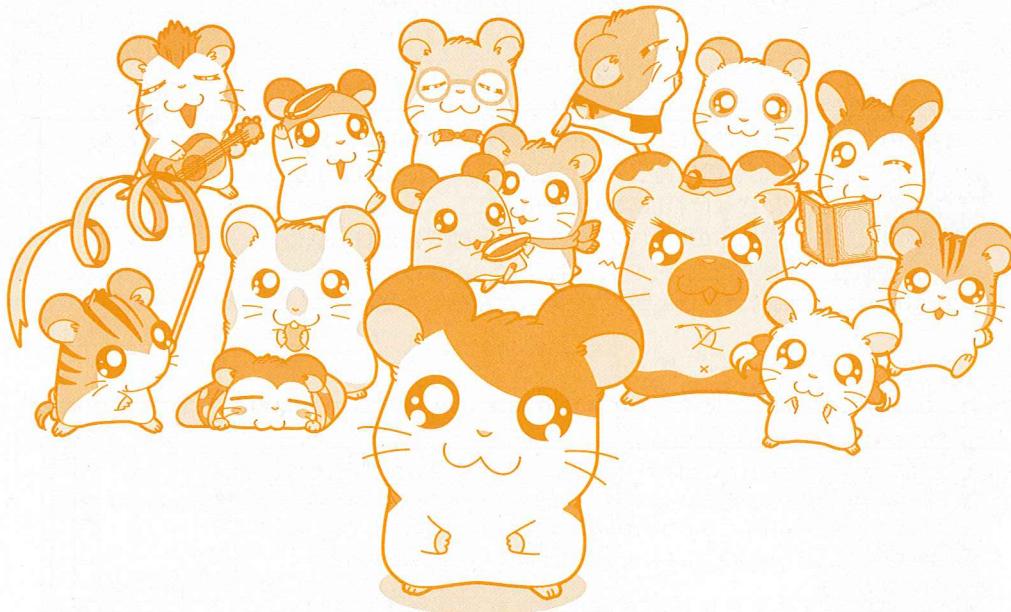
ゲームをする人が、ハム太郎になったつもりで、だれよりも早くゴールすることが目的のゲームです。

用意するもの ●三角コマ 人数分（色ちがいで） ●サイコロ 1個



あそびかた

- ①自分のコマの色とコースをきめて、START(スタート)のマスにおきます。
- ②ジャンケンなどで順番をきめます。
- ③1番の人からサイコロをふり、出た目の数だけ、自分のコマを進めます。（自分のコースからはずれて、ほかの人のコースに入ってはいけません）
- ④マスにかいてある指示に従います。
 - 1…1マスもどります。
 - 2…2マスもどります。
 - 3…3マスもどります。
 - 1回休み…順番を1回ぬかされます。
 - おいこし…先頭の人のコマより、1つ先のマスまで移動します。
 - *ただし、おいこした先のマスに指示があれば、またその指示に従います。
- ⑤サイコロの目があまあっても、ゴールできます。
- ⑥ゴールした順番で、1着、2着、3着がになります。



3 ダイヤモンドゲーム

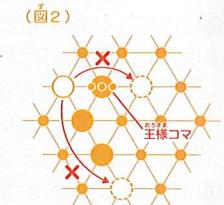
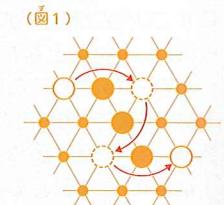
自分の陣地にいる10個のコマを、向かい側の陣地に移しかえるゲームです。1つおきにコマがならんでいれば、いくつでもピヨンピヨンとんでいけます。

用意するもの ●王様コマ 3個（赤、青、黄1個ずつ） ●兵隊コマ 27個（赤、青、黄9個ずつ）
※2人であそぶときは、赤、青、黄のうち、2つの色だけを使います。



あそびかた

- ①マフラーちゃん（赤）、リボンちゃん（青）、トラハムちゃん（黄）の中から自分の好きなキャラクターをきめます。
- ②自分の兵隊コマを、同じ陣地の○の上におきます。王様コマは、それぞのキャラクターの上におきます。
- ③ジャンケンなどで順番をきめます。
- ④1番の人から自分のコマを1個ずつ動かして、向かい側の自分の陣地に移します。王様コマは、向かい側でもキャラクターの上におかなくてはなりません。
- ⑤コマは、●や○をむすぶ線にそって、どの方向でも1つずつ進みます。ただし、進もうとする方向に1つだけのコマがあれば、それをとびこすことができます（図1）。
- とびこしたところに、また1つだけのコマがあれば、つづけてそれもとびこすことができます。こうして、1つだけのコマがつづいていれば、何回でもとびつづけることができます。1つだけのコマは、どの色であってもかまいませんが、王様コマの場合は、とびこえることはできません（図2）。
- ⑥2つ以上並んでいるコマはとびこせません（図2）。また、ほかの色の陣地の境界線を進むことはできますが、陣地の中に入ることはできません。
- ⑦自分のコマを全部、1番早く向かい側の自分の陣地に入れた人が勝ちとなります。



△勝つためのコツ△

できるだけピヨンピヨンとべるように考えましょう。ピヨンピヨンとべるみちをつくってそれを何度も利用すると勝つことができます。王様コマがのこってしまわないように、なるべくはやいうちに、動かすようしましょう。

4 チェッカーゲーム

相手のコマをとびこせたら、そのコマをとってしまうことができます。
ちょっと頭をつかいますが、世界中でプレイされているおもしろいゲームです。

用意するもの ●点数チップ 24枚（1点チップ12枚、10点チップ12枚）
※このゲームでは点数チップをコマとして使用します。



遊びかた

①自分のコマの色をきめて、図1のように、コマを裏（数字のかいてない方）にして白色のマスにならべます。

②ジャンケンなどで順番をきめます。1番の人から自分のコマを1つ動かします。

③コマは白色のマスから白色のマスへ、ななめ前に1マスだけ動かすことができます。ただし、ななめ前に相手のコマが1つだけあれば、それをとびこして、そのコマをとってしまうことができます。とびこしたところのななめ前に、また相手のコマが1つだけあれば、そのコマもとびこして、とってしまいます。こうして、とびこえられるコマがつづいていれば、いくつでもつづけてとびこして、相手のコマをとることができます（図2）。

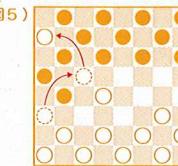
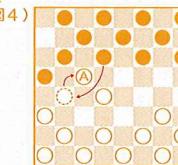
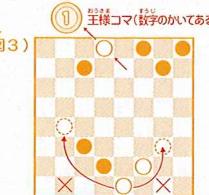
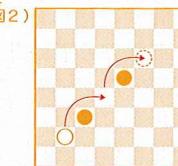
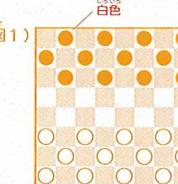
とった相手のコマは、ゲームボードからはずします。

④コマは、ななめ後に動くことも、とびこすこともできません。ただし、相手側のはしまで進んだコマは、王様コマとなって、そのつぎの番から、ななめ後に進んだり、とびこれたりすることができます。王様コマになったときは、コマを表にして、ほかのコマと区別します（図3）。

⑤相手のコマが、2個以上ならんでいる場合は、とびこえることはできません。また、自分のコマをとびこえることもできません（図3）。

⑥相手のコマをとれるときは、かならず、そのコマをとらなければなりません。とることができるとのコマが2つ以上あるときは、どちらをとってもかまいません。ただし、とることができるとのコマの数がちがうときは、たくさんとれる方をとらなければなりません。

⑦相手のコマを全部とってしまうか、動けなくしてしまえば勝ちとなります。



勝つためのコツ

「とれるコマがあるときは、とらなければならない」というルールを利用します。1つのコマをぎせいにして、相手のコマをそれ以上とれるようにするのです。図4は、その例です。相手は、Aのコマをとらなければならないそこで、図5のように、相手のコマを2個とってしまうことができます。

5 帽子あつめゲーム

相手のコマに、自分のコマを「ぼうし」のようにかぶせてつかまえてしまうゲームです。もちろん、自分のコマがつかまえられてしまうこともあります。

用意するもの ●三角コマ 16個（赤、青、黄、緑をそれぞれ4個ずつ。3人であそぶときは、どれか1つの色をはずします。2人であそぶときは、スタートの位置がとなり合わないように、赤と青、あるいは黄と緑のコマをえらびます。） ●サイコロ 1個



遊びかた

①自分のコマの色をきめ、4つのコマを同じ色の「スタート」のかごみの中におきます。

②ジャンケンなどで順番をきめます。1番の人から、あとは右まわり（時計まわり）に順番が進んでいきます。

③1番の人からサイコロをふり、出た目の数だけ自分のコマを進めます。進める方向は右でも、左でもかまいません。

④自分のコマは、どれを動かしてもかまいません。スタートのかごみの中のコマは、いつスタートさせてもかまいません。スタートのかごみの中に、コマをのこしておく必要もありません。

⑤ほかの色のコマがあるマスに止まったら、そのコマに、自分のコマを「ぼうし」のようにかぶせてつかまえてしまいます。ほかのコマをつかまえているコマをつかまえることもできます。このときは、全部をいっしょにしてつかまえたことになります。ただし、1つのマスに2つ以上の同じ色のコマがあった場合には、そのうちの1つしかつかまることはできません。

⑥自分のコマがつかまえられてしまったら、自分の番がきても、そのコマを動かすことはできません。自分のコマをとりもどすためには、自分のコマをつかまえているコマを、逆につかまえて、自分のスタートのかごみまで、もどらなくてはなりません。

⑦ほかのコマをつかまえているコマが、自分のスタートのかごみにもどったときは、つかまえていたコマを全部はずしてしまいます。こうなると、もうそのコマを、とりかえされる心配はありません。また、その中にとりかえした自分のコマがあれば、そのコマは、また自由に動くことができます。

⑧スタートのかごみにもどるときは、サイコロの目があまってもかまいません。たとえば、2が出ればもどるときに5の目が出たら、2をつかってかごみにもどり、そこでつかまえたコマや、とりかえしたコマをはずしてから、のこった3をつかってまたすきな方向へ進むことができます。

⑨灰色のマスは、安全地帯です。ここにいるコマを、つかまえることはできません。

⑩動かすことのできるコマが1つの色にならったら、ゲームは終わります。つかまえたコマとのこっているコマをたして、多い人が勝ちとなります。

勝つためのコツ

自分のコマがひとつひとつはなればなれになつてはいけません。つかまえられても、すぐにとりかえせるように、すぐ近くに味方のコマがいるようにしましょう。安全地帯もうまく利用しましょう。

6ひまわり畠で食べ放題ゲーム

自分のコマを4つとも、はやくゴールさせるゲームです。「ジャンプ」のマスに止まれば、ジャンプして大きく進めます。

- 用意するもの**
- 三角コマ 16個（赤、青、黄、緑をそれぞれ4個ずつ。3人であそぶときは、どれか1つの色をはずします。2人であそぶときは、スタートの位置がとなり合わないように、赤と黄、あるいは青と緑のコマをえらびます。） ●サイコロ 1個



あそびかた

①自分のコマの色をきめ、その色のコマを同じ色のコーナーにおきます。4つのコマのうち、1つを「スタート」に出します。

②ジャンケンなどで順番をきめます。1番の人から、あとは右まわり(時計まわり)に順番が進んでいきます。

③1番の人からサイコロをふり、出た目の数だけ自分のコマを右まわりに進めます。このとき、スタートに出ていないコマを進めることはできません。

④サイコロで1の目が出たときは、コーナーにいるコマを1つスタートに出すことができます。スタートに出したくないときや、全部のコマがスタートてしまっているときは、自分のコマのどれかを1マス進めてから、もう1度サイコロをふります。そして、出した目の数だけ自分のコマのどれかを進めることができます。このとき、また1の目が出ても今度は1マス進めるだけで、もう1度サイコロをふることはできません。

⑤自分のコマがゴールに入ったときに、まだスタートに出ていないコマがあれば、そのうち1つをスタートに出すことができます。自分のコマをスタートに出せるのは、サイコロで1を出したときと、このときだけです。

⑥サイコロの目の数を進んで、止まったマスが自分のコマと同じ色だったら4マスとんで、つぎの自分のコマと同じ色のマスまで進めることができます。

ただし、ゴールとつながっているマスの場合は、とぶことはできません。

⑦サイコロの目の数だけ進んで、止まったマスが自分のコマと同じ色のジャンプのマスだったら、矢印の先のジャンプのマスまでいっぺんにとぶことができます。

⑧自分のコマと同じ色のゴールにつながるマスにきたら、そこで右に曲がって、ゴールをめざします。ただし、ゴールできるのは、サイコロの目がゴールまでのマスの数と、ぴったりのときだけです。ゴールしても、まだサイコロの目の数があまっていたら、その分だけもどらなければなりません。

⑨自分のコマが止まったマスに、ほかの色のコマがあったら、そのコマをスタートまでもどすことができます。

ただし、止まったマスに同じ色のコマが2個以上あっても、スタートにもどせるのは、そのうち1個だけです。ごくまれなことですが、止まったマスにちがう色のコマがあったら、それぞれの色のコマを1個ずつスタートにもどします。止まったマスにいたのが自分の色のコマなら、もちろん、スタートにもどすことはありません。

⑩早く自分の色のコマを4つともゴールさせた人が勝ちとなります。

7家はどこ?迷路ゲーム

チェックポイントを通過し「迷路」から1番に脱出した人が勝ちとなる、だれにでもあそべる、おもしろいゲームです。

- 用意するもの**
- 三角コマ 人数分（色ちがいで） ●めいろカード 10枚 ●サイコロ 1個



あそびかた

①自分のコマの色をきめて、スタートにおきます。

②ジャンケンなどで順番をきめます。

③1番の人からサイコロをふります。1か2が出たら赤い矢印のマスに進みます。3・4・5・6が出たら、青い矢印のマスに進みます。

マスの移動は必ず1マスずつ進みます。コマのめざす方向の順番は図1のとおり、スタート→チェックポイント1→チェックポイント2→ゴールです。

④入ったマスに指示があったら、そのとおりにします。

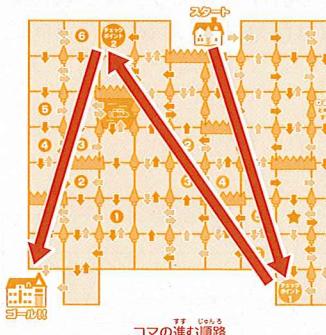
⑤「チェックポイント」のマスに入ったら、そのつぎの順番のときに、通過できるかどうか、「めいろカード」でチェックします。

だれかほかの人に、10枚の「めいろカード」を裏にして、よくきってもらいます。そのうち3枚を選んで、表にします。3枚とも「とおれます」というカードだったら、チェックに成功です。つぎにサイコロをふって、出た目と同じ数がかかるマスに進みます(図2)。

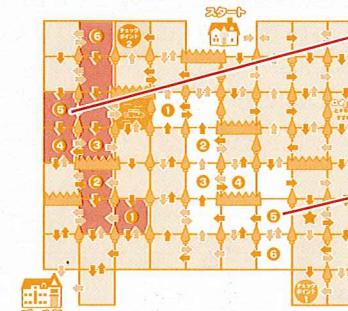
3枚の「めいろカード」のうち、1枚でも「とおません」というカードがあったら、チェックは失敗です。つぎの順番のときに、また挑戦します。

⑥「チェックポイント」1と2を通過して早くゴールした人が勝ちとなります。

(図1)



(図2)



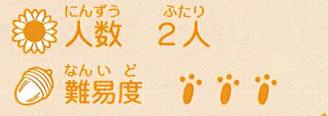
チェックポイント2を通過したあとに進むのはこの数字のマスのいずれかです。

チェックポイント1を通過したあとに進むのはこの数字のマスのいずれかです。

8 とつとこ大行進ゲーム

自分のコマを進めていく、相手の陣地に早くついた方が勝ちとなる、戦略ゲームです。

用意するもの ●白青コマ 36個



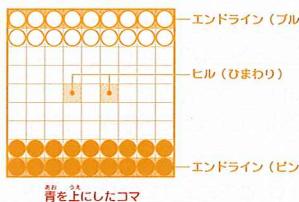
あそびかた

①白青コマを18個ずつ、図1のように並べます。

②ジャンケンなどで順番をきめ、1番の人から自分のコマを動かします。

③動く方向は、前後左右斜めの方向です(図2)。自分のコマが2つ以上あり、2マス以上動かす場合、途中で曲がることはできません(図3)。

(図1) 白を上にしたコマ

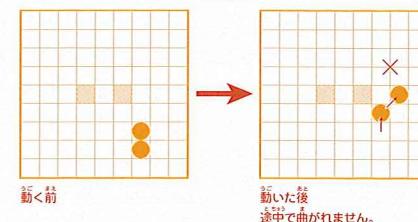


(図2)



(図3)

(図4)



④動くことができる範囲は、自分のコマが1つなら1マス、コマが2つ並んでいれば(その並んでいる方向に)2マス、コマが3つなら3マスとコマの数と同じ数のマスの分だけ並んだコマを全部動かします(図4)。

まっすぐにつながって並んでいるコマは、いっぺんに動かすことができます。これを隊列と呼びます。

進む方向にコマ(自分のコマ、相手のコマ両方とも)があるときは、必ず手前で止まり、とびこすことはできません(図5-①②)。ただし、つぎのコマをとる場合は例外です。

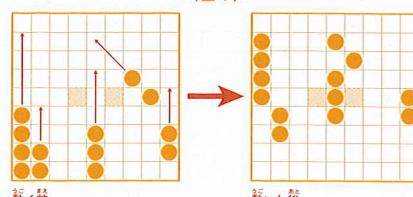
⑤捕獲(相手のコマをとること)

自分のコマが移動できる範囲内に相手のコマがあり、その数が自分より少ない場合は、相手のコマをとることができます(この場合のコマの数は自分、相手とも、進行方向に並んだものだけを数えます)(図6)。

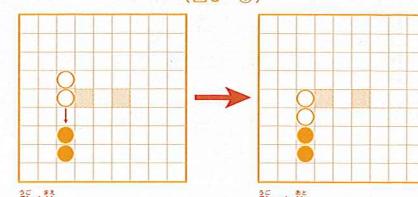
とることができるとのマスには自分の隊列の先頭のコマが入るように移動します。

コマをとったあとのマスには自分の隊列の先頭のコマが入るように移動します。

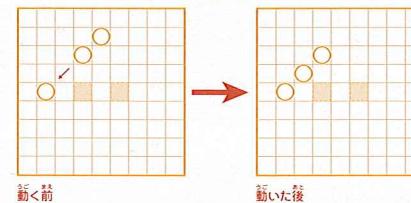
(図4)



(図5-①)



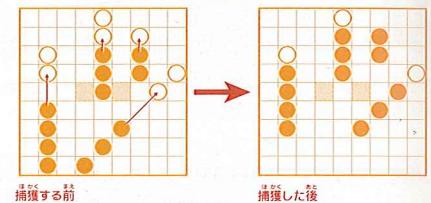
(図5-②)



動く前

動いた後

(図6)



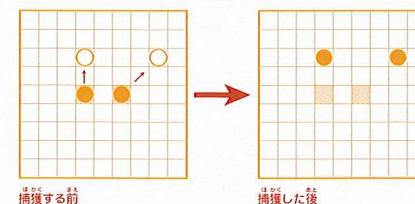
捕獲する前

捕獲した後

⑥ヒル(中央のひまわりのマス)

ヒルにコマがあると、そのコマの数は1つふえたものとみなされ、有利になります。図7のヒルにある青コマは2個とみなされ2マス移動ができ、その範囲内の相手のコマを1つとることができます。図8のヒルにある青コマの隊列は4とみなされ、コマ数3の白の隊列の1個をとることができます(防ぐ場合も同様です)。

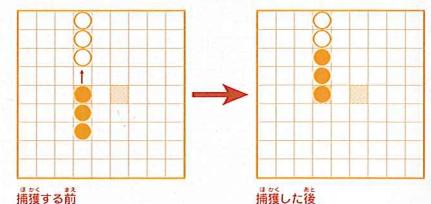
(図7)



捕獲する前

捕獲した後

(図8)



捕獲する前

捕獲した後

⑦勝利

相手のエンドライン(図1白の陣地からはピンクのマス、青の陣地からはブルーのマス)に自分のコマが1個でも達すると勝ちとなりゲームが終ります。

⑧ただし、達した直後の順番で相手も達することができればゲームは続行されます。どちらかが達することができなくなったらゲームは終了します。

エンドラインに達したコマは、その後は移動できず、相手にとられることもありません。



△勝つためのコツ△

コマを1個ずつ動かすよりも、隊列をいくつかつくって、どんどん進めましょう。ヒルもうまく利用しましょう。

9 どんぐりゲーム

ハムちゃんずがどんぐりを集めながら早くゴールするという、たのしいゲームです。

用意するもの

- 三角コマ 人数分（色ちがいで）
- どんぐりチップ 人数分（コマと同じ色のものを4枚ずつ）
- めじるしチップ 人数分（コマと同じ色のものを1枚ずつ）
- サイコロ 1個



あそびかた

①どんぐりチップはゲームボードの近くにまとめておきます。これが場です。自分のコマの色をきめて、「スタート」のマスにおきます。

②ジャンケンなどで順番をきめます。

③1番の人からサイコロをふって、出た目の数だけコマを進めていきます。
とった相手のコマは、ゲームボードからはずします。

④止まったところに指示があれば、かいてあるとおりにします。指示にはつぎのものがあります。
～マスすすむ……指示された数だけ自分のコマを進めます。

～マスもどる……指示された数だけ自分のコマをもどします。

～まいかえす……指示された数だけどんぐりチップを場にかえします。

～まいもらう……指示された数だけどんぐりチップを場からもらえます。

どんでんがえし ……自分のコマより、良い場所にいる人と、コマの位置を交替できます。
このとき、無理に交替しなくともかまいません。

1回休み ……… 順番を1回ぬかされます。

⑤ハムちゃんずは、どんぐりがないとおなかがすいて動けません。

どんぐりの森では、自分のコマと同じ色のどんぐりチップをあつめます。止まったところの指示にしたがって、4枚になるまでどんぐりチップをあつめます。どんな場合でも4枚よりも多く、どんぐりチップをもつことはできません。

3枚あつめた後に「2まいもらう」のマスに止まっても、1枚しかもらうことはできません。

⑥どんぐりチップを4枚あつめた人は、サイコロの目にしたがって、どんぐりの森の出口より出ていきます。

⑦ゲーム中、手持ちのどんぐりチップがなくなった場合は、「どんぐりの森」にとりにいきます。自分が今いるマスに「めじるしチップ」をおき、コマを「どんぐりの森」の入口におき再び⑤のようにプレイします。

どんぐりチップを4枚あつめたら、自分のコマを「めじるしチップ」をおいたマスまでもどし、そこからまたコマを進めます。

⑧STOP 1のマスでは必ず止まり、好きな人1人とジャンケンをします。ジャンケンに勝ったらどんぐりチップを場から1枚もらえます。

⑨STOP 2のマスにきたら、必ずそこで止まってサイコロをふります。「1」か「3」か「5」が出れば、自分の色のどんぐりチップを1枚もらえます(場になかったらもらえません)。「2」か「4」か「6」が出たら、どんぐりチップを2枚場にかえします。

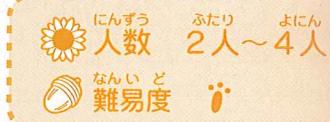
⑩一番早くゴールした人が1位です(サイコロの目があまつてもゴールできます)。ほかの人は、ゴールに近い人から順位をきめます。

10 地下ハウス迷路ゲーム

はしごがあると、上のぼれて、ドカンがあると下におっこちてしまうごろくゲームです。だれにでも、たのしくあそべます。

用意するもの

- 三角コマ 人数分（色ちがいで）
- サイコロ 1個



あそびかた

①自分のコマをきめて、1のマスの近くにおきます。

②ジャンケンなどで順番をきめます。

③1番の人からサイコロをふって、出た目の数だけコマを進めます。止まったところに指示があれば、かいてあるとおりにします。

④コマが、ちょうどどんぐりのある「はしご」の下のマスに止まると、「はしご」の上のマスまで進むことができます。「はしご」の上のマスに止まったときは、そのまま、下にはさがりません。

⑤コマが、ちょうど「ドカン」の上のマスに止まったときは、「ドカン」の下にさがらなくてはなりません。「ドカン」の下のマスに止まったときは、そのまま、上にあがることはできません。

⑥ゴールするには、サイコロの目がゴールまでのマスの数とぴったりでなければなりません。サイコロの目が多ければ、あまたの数だけ、もどらなければなりません。

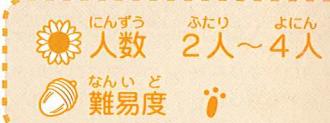
⑦早くゴールした人が勝ちとなります。

11 チップでドン！ゲーム

チップを指ではじき、入ったエリアのポイントの合計をきそいます。全員が同時にチップをはじくので、にぎやかでもあります。作戦も必要です。

用意するもの

- チップ 12枚（1点、5点、10点、50点の4種類をそれぞれ3枚ずつ合計12枚。3人であそぶときは3種類、2人であそぶときは2種類をえらびます）



あそびかた

①自分のチップの色をきめ、同じ色のチップを3枚持ちます(チップの数字はゲームには関係ありません)。

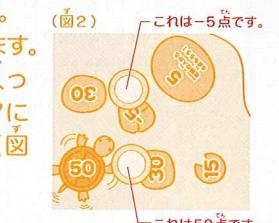
②ゲームボードの、自分のチップと同じ色のボートの上に、自分のチップを1枚おきます(図1)。



③「チップでドン！」の合図で、全員が同時に指でチップをはじきます。

④はじいたチップはそのままにして、同じように2枚目、3枚目をはじきます。

⑤3枚目をはじき終わったら、自分がはじいた3枚のチップが入っているエリアの点数を合計します。チップが2つ以上のエリアにまたがっている場合は、点数の高い方にに入っているとみなします(図2)。円の外に出てしまつたチップは0点です。



⑥合計点の1番多い人が勝ちとなります。

ねてるくんの

12 冒険ゲーム

電車に乗って先へ進んだり、赤信号でもどったりする、簡単に楽しめる
すごろくゲームです。

用意するもの ●三角コマ 人数分(色ちがいで) ●サイコロ 1個



あそびかた

- ①自分のコマをきめ、スタートにおきます。ジャンケンなどで順番をきめます。
- ②1番の人からサイコロをふり、出た目の数だけコマを進め、止まったマスの指示に従います。
緑信号……もう一度サイコロをふり、出た目の数だけ進み、止まったマスの指示には従いません。
- 赤信号……もう一度サイコロをふり、出た目の数だけもどり、止まったマスの指示には従いません。
- トンネル……1回休みとなります。
- 電車……矢印のある先のマスへ進みます。
- ゴールは、サイコロの目があまつたら、その分もどらなければなりません。
- ④早くゴールした人が勝ちとなります。

トンガリくんの

13 リズムゲーム

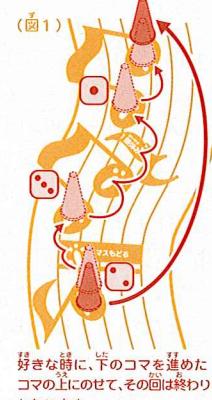
サイコロをふりながら、いち早くゴールをめざします。自分の順番がきたら何回でも続けてサイコロをふれますが、5か6が出てしまうと、元の場所にもどらなくてはなりません。

用意するもの ●三角コマ 8個(赤、青、黄、緑の4色を、それぞれ2個ずつ。3人であそぶときは3色、2人であそぶときは2色をえらびます) ●サイコロ 1個



あそびかた

- ①自分のコマの色をきめて、それを2個重ねてスタートにおきます。
- ②ジャンケンなどで順番をきめ、1番の人からサイコロをふります。
- ③1~4の自が出たときは、その数だけ上のコマを進めます(もう1つのコマはその回のスタート位置においてあります)。そして、つづけて何度もサイコロをふることができ、その目の数だけ進めているコマを進めます。最後に、自分の好きなときに、サイコロをふるのをやめます。その回のスタート位置においてあるもう1つのコマを、進めたコマの上に重ねて、その回を終わります(図1)。



- ④ただし、サイコロをふりつづけている途中で5か6が出たら、進めているコマをその回のスタート位置においてあるもう1つのコマの上にもどし、1マスも進めずにその回を終ります。
- ⑤指示のあるマスに止まったときは、その指示に従い、それ以上はつづけてサイコロはふれません。
- ⑥早くゴールした人が勝ちとなります(サイコロの目があまつてもゴールできます)。



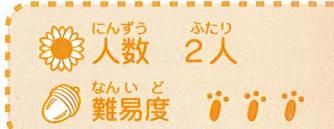
5か6が出てしまったら、進めたコマをスタート位置にもどして終りとなります。

ハムちゃんずの

14 ハムハム当てるのだゲーム

相手が選んだ3枚のコマの絵柄を、相手が出すヒントをもとに、見ないで当てるゲームです。直感と推理が決め手のゲームです。

用意するもの ●ジャラポンコマ 54個(1番から6番までの6種類のコマを9個ずつ) ●白青コマ 16個



あそびかた

- ①すべてのジャラポンコマ(54個)を表にします。
- ②6種類のコマを1個ずつ取り、自分だけに見えるように立て並べます。
- ③6種類のコマの中から3個を選び、ゲームボードの「問題コマ」のマスに相手から見えないように並べます。
- ④残った3個のコマは裏にして、ほかのコマとまざらないようにわけておきます(図1)。
- ⑤お互いに相手が選んだと思う絵柄のコマを、表になっているコマから選び、相手の問題コマとのりの「1」とかいてあるマスに表にして並べます。
- ⑥相手が並べたコマに対し、お互いにヒントを出しあいます。当たっているコマが1個あれば、その横のヒントのマスに白青コマの青を表にして1個おきます。当たっているコマが2個あれば、白青コマを2個おきます(図2)。
- ⑦相手がくれたヒントをもとに、もう一度答えを考えてつぎの「2」とかいてあるマスにコマを並べます。そして、またヒントを出しあいます。
- ⑧これをくりかえし、先に相手の3コマすべての絵柄を当てた人が勝ちとなります。「5」とかいてあるマスまでやって、2人とも3コマすべてを当てられなかつたら、引き分けです。

(図1)

裏	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6

問題コマを選んだあと残ったコマ

相手から見えないように並べた問題コマ

ヒント

(図2)

裏	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6

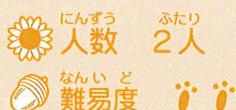
相手が推理して並べたコマ

相手が並べたコマが当たっている数を白青コマをおいて数えてあげます。

※ ■が当たりのコマです。

15 ハムハムトンネルゲーム

サイコロの目に従いながらコマを動かし、早く自分のコマ6個すべてを、トンネルの反対側へ渡らせるゲームです。



- 用意するもの
- ジャラポンコマ 12個（マフラーちゃんとリボンちゃんのコマ2種類を6個ずつ）
 - サイコロ 1個

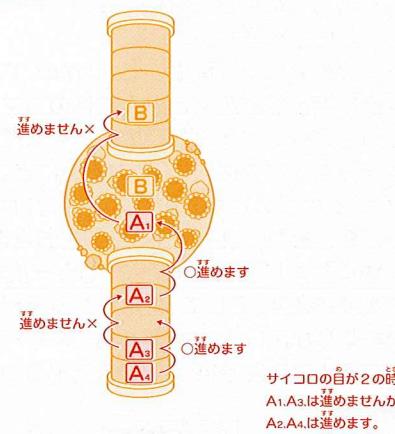
遊びかた

- ①自分のコマの絵柄をきめて、6個すべてをスタート位置に並べます（図1）。
- ②ジャンケンなどで順番をきめ、1番の人からサイコロをふり、出た目の数だけコマを進めます。進めるコマは、自分のどのコマでもかまいません。
- ③トンネルでは、自分のコマ・相手のコマに關係なく、1つのマスに1個のコマしか入れません。ただし、中央のマスだけは何コマでも入れます（図2）。
- ④動かせるコマが1個もない時は、その回は何もできません。
- ⑤先に6個のコマすべてを、反対側へ渡した人が勝ちとなります。
反対側へは、サイコロの目があまっても入ることができます。

(図1)

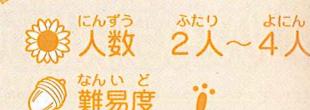


(図2)



16 夢のハムちゃんズランドゲーム

4種類のアトラクションであそび、遊園地を1周するすごろくゲームです。



- 用意するもの
- 三角コマ 12個（ハムちゃんズランダードゲーム用）
 - サイコロ 2個

遊びかた

- ①自分のコマをきめて、スタートにおきます。ジャンケンなどで順番をきめます。
- ②1番の人からサイコロを1つふり、出た目の数だけコマを進め、止まったマスの指示に従います。
また、止まったマスの指示に従った後、またそのマスに指示があってもその指示には従いません。
- ③各アトラクションには、特別なルールがあります。
かんらん車…………●黄色の足跡に止まつたら、1マスもどります。
スペリ台…………●STOP 1のマスまできたら、必ず止まり、もう1度サイコロをふります。
1・2の目が出たら、スペリ台で近道することになり、赤い矢印の先へ1マス進め、その回を終わります。
- グローブジャングル…♥マークのあるマスに止まるまで、ぐるぐると何周も回らなければなりません。
- ブランコ…………●STOP 2のマスまできたら、サイコロの目があまっても必ず止まり、左どちらの人とサイコロを1個ずつ同時にふります。相手より大きな目が出たらつぎの青い矢印の先へ1マス進め、その回を終わります。相手より小さな目が出たら、その回は動けません。
- ④ほかの人のコマと同じマスに止まつたら、そのコマに自分のコマをかぶせます（1回休みのマスでは、かぶせません）。下のコマが進むときは上にかぶさっているコマもいっしょに運ばれます。上のコマが進むときは、下のコマをその位置にのこして、上のコマだけ進めます。
- ⑤サイコロの目があまっても、ゴールできます。
- ⑥早くゴールについた人が勝ちとなります。



17 ハムちゃんずめぐりゲーム

うら
裏にしているコマをめくって、同じ絵柄のペアをつくるゲームです。



用意するもの ●ジャラポンコマ 82個 ●点数チップ (各自10点分ずつもらいます)



- ①ジャラポン台の上にすべてのジャラポンコマを裏にしてよくめざします。
- ②ジャンケンなどで順番をきめます。
- ③1番の人から、どれでも好きな2個のコマをめくります。
- ④2個のコマが同じ絵柄だったら、めくった人は、ほかの人から1人1点ずつ、チップをもらいます。同じ絵柄だった2個のコマは、台の上からとりのぞきます。
- ⑤2個のコマがちがう絵柄だったら、そのまま、もとにもどします。そして、めくった人は自分のチップを1点、捨てなければなりません。
- ⑥もし、2個のコマが同じ絵柄である自信があったら、コマをめくる前に、「ラッキーチャンス！」と宣言できます(しなくてもよい)。「ラッキーチャンス！」宣言をして、めくった2個のコマが同じ絵柄だったら、ほかの人から1人3点ずつ、チップをもらえます。もし、ちがう絵柄だったら、めくった人は、自分のチップを3点、捨てなければなりません。
- ⑦こうしてゲームをつづけ、チップのなくなってしまった人は、ゲームから抜けます。最後まで残った人が勝ちです。

ハムちゃんずの

18 ダイスでドン！ゲーム

サイコロの目によって、9種類のコマをたくさん捨てた方が勝ちとなるゲームです。



用意するもの ●ジャラポンコマ 36個 (各自1番から9番までのコマを1つずつもらいます)
●点数チップ (各自50点分ずつもらいます) ●サイコロ 2個



- ①ジャンケンなどで順番をきめます。
- ②1番の人から、サイコロを2個同時にふります。そして、出た数の番号のコマを捨てます。
- ③サイコロの2個の数を別々に見て、その両方を捨てても、2個の数をたした番号のコマを1個捨ててもかまいません。

例、のとき、とを捨てても、たしてを捨てても、どちらでもよい。

- ④2つの数がゾロ目の場合は、その数の番号を、1個捨てても、2個の数をたした番号のコマを1個捨ててもかまいません(ゾロ目とは2つのサイコロの数が同じことをいいます)。

例、とだったら、か、を捨ててる。

- ⑤こうしてゲームを進め、コマを捨てられない数を出してしまった人は、ゲームから抜けます。

例、とを出したとき、すでにかをもっていなかつたら捨てられるコマがありません。

- ⑥そして抜けるとき、自分のチップの中から残ったコマの番号を全部足した点数分のチップを捨てます。

例、ととが残ったら、 $1 + 5 + 9 = 15$ 点を捨てる。

- ⑦全員が終わってしまったたら、また全員がコマを1から9までそろえ、ゲームを再開します。ただし、チップが全くなくなってしまった人は、再開したゲームに加われません。こうして、最後までチップのこった人が勝ちです。

ハムちゃんずの

19 みつつきべゲーム

タテ、ヨコ、ナナメに早く3個のコマを2列並べたら勝ちとなるゲームです。

用意するもの ●ジャラポンコマ 82個 ●点数チップ (各自5点分ずつ持ちます)



- ①ジャラポン台の上にすべてのジャラポンコマを裏にしてよくめざします。

- ②コマを9個ずつとり、絵柄を表にして自分の前にならべます(図1)。もし、7個以上、同じ数字のコマをとった人は、その場で負けとなります。

- ③ジャンケンなどで順番をきめ、1番の人から、台の上のコマから1つずつコマをとります。コマを表にして手持ちのコマの中に同じ数字のコマがあればそのコマの上にのせておきます(図2)。そのほかはすべて1か所にまとめて捨てます。

- ④のせたコマが、タテ、ヨコ、ナナメのどれでも2列並んだ人が、勝ちとなります。

- ⑤勝った人はみんなからチップを1点ずつもらいます。

- ⑥ゲームの途中で、コマがなくなった場合は、捨てたコマを裏にしてよくめざてまた使います。

- ⑦チップがなくなった人が出たら、ゲームは終了となり、チップの点数の高い人が1位となります。

(図1)
絵柄の配置は自由です。



(図2)



20 振れるのだゲーム

コマを積んでいくって、くずしたら負けとなる、にぎやかなゲームです。



用意するもの ●ジャラポンコマ 82個 ●点数チップ (各自10点分ずつもらいます) ●サイコロ 1個

あそびかた

(図1) 得点の高い順序



(図2)



- ①ジャラポン台の上に、すべてのジャラポンコマを裏にしてよくまぜます。
- ②1人1個ずつコマをえらび、いっせいに表にし、得点を見ます(図1)。
1番得点の低い人が、自分のとったコマを自分の前に積んでいきます(図2)。そのほかのコマは、台の上にはもどさず、まとめて捨てます。
1番得点の低いコマが、2人~4人に同時に出てしまった場合は、順番にサイコロをふり、出た目の数が1番小さい人がとったコマを積みます。
- ③こうしてゲームを続け、積んだコマをくずした人はゲームから抜けていきます。最初に抜けた人は4位、2番目は3位、3番目は2位となります。
最後までコマをくずさずに残った人が1位となります。
- ④順位が、4位の人は3点、3位の人は2点、2位の人は1点チップを捨てます。1位の人にはチップを捨てません。
再び、すべてのコマを裏にしてまぜて、ゲームを再開します。ただしチップがなくなってしまった人は加われません。こうして、最後までチップの残った人が勝ちとなります。
- ⑤ゲームの途中でコマがなくなった場合は、捨てたコマを裏にしてよくまぜ、また使います。

21 ジャラボンゲーム

楽しく遊べるハム太郎の組合せゲームです。いろいろな上がり方などで得点をきそいます。



用意するもの ●ジャラポンコマ 82個 ●チップ 64枚 (1点 36枚、5点 8枚、10点 16枚、50点 4枚)
●サイコロ 2個 ●得点表 2枚
●ジャラポンコマケース 人数分 (ゲーム中は点数チップを入れるケースとして使います)

あそびかた

①点数チップの配りかた

1人の持つ点数チップは11枚で、点数は100点です。ゲームを始める前に、つぎのように配ります。

1点チップー5枚 5点チップー1枚 10点チップー4枚 50点チップー1枚

②席と親のきめかた

全員が交替でサイコロを2個同時にふり、1番数の多い人から順番に好きな場所に座ります。このとき、1番数の多い人が最初の親になります。

③コマの並べかた

82個のコマ全部をジャラポン台の上でよくかきまぜます。そして絵柄をふせながら、自分の前に10個ずつ2段に重ねて並べます。親は11個ずつ2段に重ねます(図1)。

④ゲームスタート コマの配りかた

最初に親はサイコロを2個同時にふります。そして、自分の前のコマの右はしから、でた目だけ左方向にかぞえて、そのつぎの重ねてある2個のコマをとります。つぎの番の人(子1)は、親がとったところの左どちらなりから、2個とります(図2)。こうして2個ずつ順にとっていき、手持ちを全員8個ずつにします。8個になったら、絵柄を自分の方に向けて、ジャラポン台のみぞに立てます。

⑤ゲームの進めかた

①このゲームでは、自分の番がきたら、ふせてあるコマを1個、はしまどります。すると、手持ちの8個とあわせて9個になります。この9個が、得点表にある上がり手のどれかになっていたら、上がりです。そうでなかったら、9個のうちいちらないと思うコマ1個を自分の前に捨てて、手持ちを8個にもどします。これを順番にくりかえしていきます。

②ゲーム開始はまず親が、2段に積んであるコマの1番はし(コマの配りで、最後の人がとったコマのつづき)の上のコマを1個とります(図3)。

③つぎに、いらないと思うコマを1個、絵柄を表にして、自分の前に並んでいるコマの向こう側に捨てます。

④捨てたコマは左から右にタテにして並べていきます(図4)。

⑤同じように、つぎつぎと順番に左まわり(時計のまわりとは反対)で、のこっているコマを上・下・上・下と1個とてけては1個捨て、誰よりも早く上がるよう絵柄をそろえていきます。

⑥1番早くそろえ上がったら、「上がり」と声をかけ、全部のコマを、絵を表にしてたおし、どの「上がりコマ」で上がったかみんなに見せます。

⑦コマの絵柄のそろえかた、上がりのパターンによって点数チップをやりとりします。

⑧点数の計算が終わったら、また最初から、全部のコマをジャラポン台の上でよくかきまぜ、同じようにゲームをつづけていきます。

⑨親は最初にきめた人から順に右どちらの人に移りますが、親が上がりっているかぎり、つづけて同じ人が親になります。

⑩ここまで説明で、初歩ルールはおわりです。ここまでルールでも、遊びることができます。

取扱説明書の終わりの「上がり方のまとめ」の表では、「ポン」も「リーチ」もせず、自分のめくったコマで上がった」という上がり方のみで遊ぶことになります。

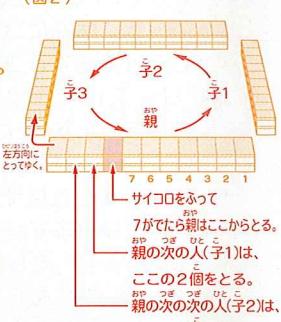
(図1)

※子は、絵柄をふせて10個ずつ2段に重ねて並べます。

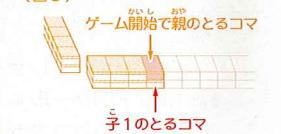


※親は、絵柄をふせて11個ずつ2段に重ねて並べます。

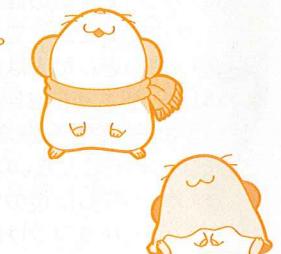
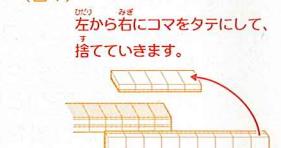
(図2)



(図3)



(図4)



⑥「リーチ」のルール

あと1個のコマで上がりになるとき、そのコマを「上がりコマ」と呼びます。「上がりコマ」は、自分の番にめくってくる以外にも、ほかの人気がコマを捨てたとき「それで上がり」と指さして宣言すれば、それで「上がり」になります。宣言は「上がりコマ」が捨てられたら、すぐにします。ただし、「上がりコマ」と同じ絵柄のコマをそれまで自分が捨てていたら、人の捨てたコマで上がることはできません。

②また、このようにあと1個のコマで上がりになるとき、「リーチ」ができます。しなくともかまいません。

③リーチをするには、いらないコマを捨てるときに、「リーチ」と声をかけ、そのコマをリーチの印として、横向きにおいて捨てます。そして、1点の点数チップを台の上に出します(図5)。このとき、横向きに捨てたコマを「ポン」(後で説明します)された場合、つぎの自分の捨てるコマを横向きにおきます。

④「リーチ」しておくと、上がったときにもらえる得点が多くなる場合があります。ただし、「リーチ」をしてから、1回でもほかの人の捨てた「上がりコマ」を見のがすと、その後捨てられるコマをとって上がることはできません。自分がめくって、もってきたコマでのみ上がれます。

(いつ「リーチ」をしたかは、コマを横向きにしたところで分かります)

⑤「リーチ」をしたら、自分のそろえた絵柄を変えることはできません。また、「ポン」もできません。

⑥「リーチ」をして、上がったときの得点は、取扱説明書の終わりの「上がり方のまとめ」を見てください。

⑦「リーチ」をして、上がれない場合、自分が出した1点は、上がった人にとられてしまいます。

⑦「ポン」のルール

①同じ絵柄のコマが2個そろっているときに、人の捨てた同じ絵柄のコマを自分のコマとしてもらい、3個そろえることができます。

②そのとき、「ポン」と声をかけ、だれから「ポン」をしたかわかるようにポンをしたコマを自分の2個のコマといっしょに絵柄を表にして右はしをおきます(図6)。

※「上がりコマ」と同じコマを自分が捨てていたら、ほかの人のコマでは上がれません。このため、ポンされたコマも、もとはだれが

捨てたコマかを、はっきりさせておく必要があります。

③「ポン」できるのは、「ポン」したいコマをだれかが捨てた直後です。

すぐに声をかけてください。

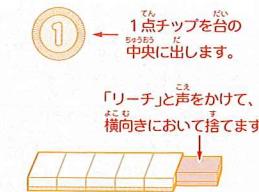
④「ポン」した人は、「リーチ」ができません。

⑤「ポン」は、可能な限り、何回もできます。2人以上が同時に「ポン」したら、親から左まわりで親に近い人がとなります。

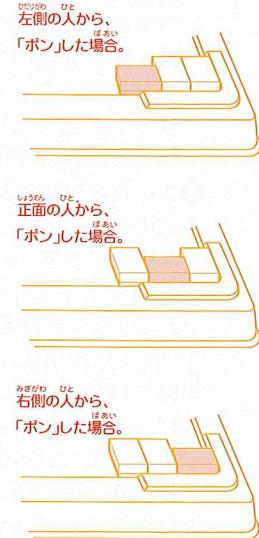
⑥「ポン」をしたら、のこりのコマから、いらないコマを1個捨てます。

⑦「ポン」をした後のゲームをする順番は、「ポン」をした人の右どなりの人からつづけます。

(図5)



(図6)



⑧「ポン」をして上がったときの得点は、取扱説明書の終わりの「上がり方のまとめ」を見てください。

※「ポン」をしたら、上がったときの点数は半分になります。また「リーチ」もできませんのでよく考えてやりましょう。

⑨オールマイティコマ(ひまわり)の使い方
どのコマとも組み合わせて使えます(好みの欲しいコマの代わりをします)。また、上がったときには得点表の点数のほかに、3点プラスされます。

⑩「上がり方」の注意

①上がり方には、人の捨てたコマをとって上がる場合と、自分でめくってとって上がる場合があります。また、上がるまでに「ポン」をしている場合、「リーチ」をしている場合、どちらもしていない場合、があります。それぞれの場合の得点は、取扱説明書の終わりの「上がり方のまとめ」を見てください。

②あと1個で上がるというとき、ほかの人がそのコマを捨てたとしても、そのコマと同じ絵柄のコマを、自分が以前に捨てていたら、そのコマで上がることはできません。自分でそのコマをめくって、とってきて上がるか、可能なら別の上がり手をねらうしかありません。

⑪2人以上が同時に上がるときのルール
人の捨てたコマで2人以上が同時に上がる場合、親から左まわりで親に近い人が上がりになります。

親と子が同時の場合では親が上がりになります(図7)。

⑫親が上がったときのルール

親が上がると、得点表の点数の2倍もらいます(ポンのときも2倍です)。親が上がりつづけているかぎり、その人はつぎのゲームも親をつづけられます。

⑬ゲームが成立しない時のルール

2段に並べた最後のコマまでやって、だれも上がらなかった場合は、「流れ」とし、ゲームは成立しません。また新しくゲームを始め、親は親の右どなりの人に移ります。このとき、だれかがリーチをしていて、リーチの点数チップがあった場合、つぎのゲームで上がった人が、そのチップをもらいます。

⑭ペナルティー

上がるときにコマをまちがえたり、自分が今までに捨てたコマと同じ絵柄のコマを、ほかの人が捨てたときに上がった場合は(ポンをしてあるコマもよく見てください)ペナルティーとして、みんなに3点ずつ払わなければなりません。また親がペナルティーの場合、親は移ります。

⑮ゲームの終わり

1番最初にきめた親からゲームを始めて、左まわり(時計の方向と反対まわり)で、みんなに親が2回ずつまわったら、ゲームを終わりにします。その時点で、それぞれがもっている点数を数えて、1番点数の多い順に、順位をきめます。ゲームの途中で点数チップがなくなった人ができたときは、その時点でゲームを終わりにして点数を数え、順位をきめます。

(図7)

